

# 「3D/4D イメージング応用技術の最前線」特集 原稿募集

「軽金属」では、2014年11月号に標記の特集を予定しております。本テーマは、2013年11月に横浜国立大学で開催の第125回秋期大会のテーマセッションでとりあげたものです。

## 【特集趣旨】

シンクロトロン放射光やラボスケールのX線源、電子線などを用いたトモグラフィ(CT)を活用し、これまでの表面・断面の観察では叶わなかった高度な研究が材料工学でも展開されるようになってきている。また、シリアルセクションニングにより、より簡便に高精細な3D画像を手にもすることも可能である。各種応用技術の開発と相まって、内部微視構造の正確な理解やその時間発展挙動の解明などに、画像と高密度物理量の計測の両面からアプローチできるようになっている。さらに、高精細な3D画像を基にイメージベースシミュレーションを行えば、実用材料の不規則で複雑な内部構造の影響をも精密に評価できる。この特集では、TEM-CT、X線CT、シリアルセクションニングなどの手法で取得した3D/4D画像の評価と解析を中心に、3D/4D画像を用いたイメージベースシミュレーション、ものづくり技術への還元を志向したリバーズ4D材料エンジニアリングなど、その応用ないし周辺技術も含めて、広く原稿を募集し、この分野の潮流を俯瞰する。

## 【特任編集委員】

戸田 裕之(九州大学)、桑水流 理(福井大学)、小林 正和(豊橋技術科学大学)

## 【原稿募集要領】

募集原稿：研究論文、研究ノート、技術報告、新製品/新技術紹介

投稿締切：2014年5月20日(火)

原稿は、本誌投稿規程ならびに執筆要領に従って、投稿審査システムを通じて投稿して下さい。また、原稿は特集号への投稿であることがわかるように備考欄に「特集号」とご記入下さい。

## 【投稿予備登録】

投稿予定者は、2014年2月28日までに、予備登録下さい。

「特集号予備登録」と題記して、①原稿の種類、②題目、③著者、④投稿予定日、⑤申込者の連絡先(〒、住所、所属、e-mailアドレス)を明記の上、FaxまたはE-mailで上記までお送り下さい。

## 【問合せ先】

一般社団法人軽金属学会 編集委員会 事務局 Tel (03) 3538-0232 Fax (03) 3538-0226 E-mail: kimura@jilm.or.jp

## 特任編集委員とは

軽金属にかかわる多種多様な研究・技術開発動向を会員の皆様にタイムリーに提供することは、本誌の大切な使命のひとつと考えています。そこで編集委員会では、新たに「特任編集委員」を設けることとしました。特集記事編集に当たり、当該分野で活躍されている第一線の研究・技術者の皆様に、特任編集委員として主体的にかつ裁量権を持って特集記事編集作業に参画頂くことができるようになります(規程準備中)。